3.「本市の農業振興について」

我が国には食物があふれているように感じるが、そのほとんどは輸入に頼っている。食料自給率は僅か38%程でしかない。人口増に加え、気候変動などで世界的規模の凶作がおこれば食料事情はひっ迫し現在のコロナ禍以上の混乱が予想される。市民の皆さまに農業環境の厳しさを認識していただき農業に対する関心を持っていただきたい。

- 農家戸数は１０年前の半分に減少した。なかでも減少が著しいのは[第二種兼業農家]。
- 農家戸数の減少を食い止め、農地をこれ以上減らさないことが重要と考える。
- 農家戸数の減少の食い止めには農家の所得向上に繋がる施策が最も重要。
- 農業と福祉との連携は本市としても積極的に取り組むべきだ。

現在審議中の来年度から5年間の農業対策方針を決める「福岡市農林業総合計画」は、現在の農業の諸問題を解決し危機を打破し　農家だけではなく市民のみなさんにも夢と希望が持て　新たな時代に対応できる農業施策となることを切望する。